

めあてを高く
できるまで やれ

岡崎市立梅園小学校

校長室だより 18

令和 2年12月23日
こん どう ふみ ひこ
近 藤 文 彦



生活科 総合的な学習の時間の学び

「梅っ子フェスティバル」で学びの共有をしました：12月17日(木)

生活科・総合的な学習の時間の学びの発表・共有の場として、「梅っ子フェスティバル」を実施しました。本年度は子供たちが自分たちで追究活動を行って学び、学んだことを発表・共有する場であることから、昨年度までの「梅園プライドフェスティバル」から子供主体の「梅っ子フェスティバル」という以前の名称に変更しました。「梅っ子フェスティバル」は、平成12年11月16日に籠田公園の野外ステージで行われたところがスタートのようです。平成14年度から実施された「総合的な学習の時間」の移行期間で学んだ成果を発表する試みとして行われました。学級ごとのテーマで「梅園学区を有名にしよう大作戦」「私たちにできるボランティア」「郷土の英雄、徳川家康」などがありました。地域を学び、地域の人と触れ合うことで一層の親しみと愛着が深まっていったようです。



【20年前の梅っ子フェスティバル】

例年は保護者の参観も行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、子供たちだけの参観とし、密集を避けるため、参観する学年も決めることにしました。参観に来る学年に合わせた発表方法に絞ることもできました。

1・2年生は生活科で学んだことを、制作した実物で遊んでもらったり、ペープサートを使ったりして紹介していました。楽しく学んでもらえるように、実際に作ったり、クイズに挑戦したりするところもありました。お客さんにたくさん来てもらおうという姿がありました。



【生活科の発表の様子】

3年生からの総合的な学習の時間での学びについては、各学年・学級での取り組みに合わせた発表が行われました。6年2組では「戦争を土台とした平和展」が行われていました。11月に岡田亮一さん（岡崎空襲を記録する会：中町在住）から、8歳の時（梅園国民学校3年生）に昭和20年7月20日未明の岡崎空襲を経験し、その時に2歳の弟と生後4か月の妹を亡くされたことについて紙芝居を見ながら聞きました。岡崎での戦争について学んできた子供たちは、「語り継がれる戦争の恐怖」と題して、岡田さんの話の内容を寸劇にして伝えることにしました。



【紙芝居で学んだ様子】



【寸劇で伝える様子】

当日は、11月にお話をいただいた岡田さんと、岡崎空襲を記録する会会長の杉田隆志さんに来校していただき、展示を参観し、寸劇を見ていただくことができました。おふたりの表情から、平和展に取り組む子供たちの思いは伝わったように感じました。

どの学年・学級も学んだことを他の人たちに伝え、共有するためにはどのようにしたらよいか考えて発表していました。自分たちが学んだように体験してもらおうことができるのであれば体験してもらおうことが



【車いす体験】



【御飯の試食】

よいのかもしれませんが、また、この機会に育てた稲から収穫した米の味について、玄米・五分つき米・七分つき米・白米の味や好き嫌いのアンケートを取っている学級もありました。模型やクイズ、双六、紙芝居などの工夫を凝らして、学んだことを楽しくわかりやすく伝えようとする姿がありました。今年度は規模を縮小したため、一部しか見学できなかったことが残念に感じました。さらに、時間があれば、学びも伝え方も子供たちが工夫できるのではないかと感じています。

午後は、「梅っ子クイズ王決定戦」をZOOMで行いました。スタッフしかいない体育館の舞台上、ZOOMで学級の様子や雰囲気を感じながら、司会進行する2人には感心しました。今後は、このようなリモートで集会活動などを実施することも多くなるのではないかと考えます。その際に、リモートの画像や音声を通して、どのように心と心を繋げていくのか考えなければなりません。本校の子供たちと教職員は、対面の場合でも、リモートの場合でも、いつでも心を寄せあえる集団でありたいとつくづく感じました。



【体育館での進行の様子】

2学期の教育活動を考える 学校評議員会(12月18日(金))

学校評議員から「コロナ禍ではあるが体育的な活動が見られてよかった」「社会でもプレゼンなど発表する機会が多い。発表する経験を大切にしてほしい」「キャリア教育に関する研究は興味がある」「落とし物が多い。記名をしっかりとさせたい」「部活動で頑張っているが試合や発表する機会がなくならないようにしてほしい」などの意見が出されました。意見を参考にして今後の学校運営に生かしていきたいと考えます。ありがとうございました。

例年よりも長い2学期でした。行事や活動が制限や縮小されることもありましたが、しかし、プロフェッショナルな人や本物に触れる機会が多くありました。プロや本物には、湧き出す力があります。子供たちがその力を吸収できるよう支援したいです。



【線香花火作り】



【石割体験】

ボランティア活動を考える4 雑巾の寄贈・女性の会から...

本年度も、梅園学区女性の会から、たくさんの雑巾を寄贈していただきました。ありがとうございました。12月9日(水)の給食の時間に校内放送で紹介させていただきました。2学期末の大掃除などに活用させていただきました。今回から教室の床用ワックスを通常の油性のものに変更しましたので大変助かりました。



【放送室での贈呈式】

子供たちと共に、よい年をお迎えください。ありがとうございました。